熊本県八代市「葉木の竪穴」新支洞レポート

Survey Report on a New Branch at the Pit Cave "Hagi no Tateana" in Kumamoto Pref.

岡 晃子（Akiko OKA）
Japan Exploration Team 所属　京都府在住

1. はじめに

「葉木の竪穴」は熊本県八代市泉町葉木にある、洞口の直径 10m 以上、深さ 70m 以上の煙突状の洞窟で、九州大学探検部・熊本洞穴研究会の『五木・五家荘の洞窟』(1988) において「スケールとしては日本では最大級のものと考えられる」とされる、日本の洞窟の中でも大規模なものである [1]。

Japan Exploration Team(J.E.T) では 2016 年 1 月に、周辺の山に詳しい「山里料理の宿 佐倉荘」のご主人から「葉木の竪穴」までのアプローチルートを指南いただき、メンバー 3 名でファンケイビングを行った。その際、竪穴部分の洞壁に横穴があり、先が続いているように見えたが、ロープから離れていたため取りつくことができなかった。同じ個所かどうかは不明であるが、うきぐもケイビングクラブのブログでも、2017 年の記録に、登り返し中「向こうの洞壁に大きな支洞が見える」と書かれている [2]。

その後、この支洞の調査は数年間 J.E.T 内の課題となっていたが、2022 年 5 月にこの横穴部分の先に支洞が続いていることを確認した後、2023 年 5 月に 2 日間かけて支洞の探検と測量を行った。本レポートではこの新支洞の概要について報告する。

洞口からピットを見下ろす

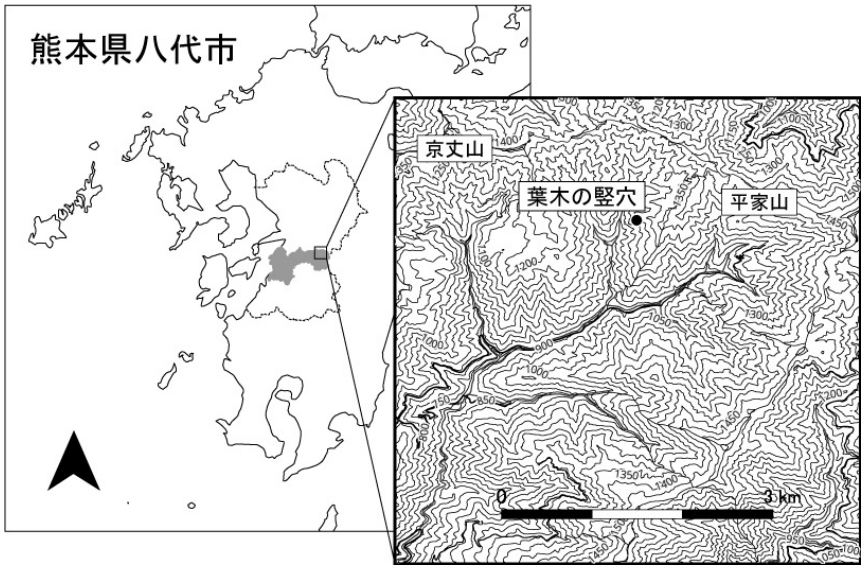
2. 洞口及び新支洞へのアプローチ

「葉木の竪穴」へは平家山登山口の駐車場に車を停め、斜面を約 1,250m まで登った後、トラバースして竪穴のある尾根まで行くのが最も効率的である (位置図参照)。所要時間は約 1 時間 30 分。洞口は露岩帯の斜面に沿って開口していて、規模は大きいのだが、周囲に樹木が多く、また斜面の上側は崖になっているため、斜面の下側から回り込んだ方が見つけやすい。

リギングは洞口の北側から木にバックアップをとり、約 4m 下の岩壁に打ってある 2 本のメインアンカーに Y ビレイを設置して、ピッチ底まで一気に 70m 下降する。このようなロングピッチではロープ自体の荷重や昇降時のストロークによるロープの伸び縮みが大きくなることを考慮しながら、メインアンカー周辺ではロープが岩肌に擦らないよう注意し、プロテクターを使用する必要がある。

「葉木の竪穴」のピット底は約 25 度傾斜していて、南側の最も低い場所から下向きの支洞が約 20m 延びている。『五木・五家荘の洞窟』では、この支洞の奥から続くメアンダートレンチについて「狭くて進行が困難で

洞口



葉木の竪穴の位置図 (国土地理院基盤地図情報を加工・加筆)